

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	慶生会KIDSステージ鴻池
------	---------------

公表日 2026年 5月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	26	0	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	0	5	・子どもの特性に合わせて配置している。	・集団療育児に人員に余裕がある方が療育の質が向上し、リスク管理もしやすいと思う。 ・子どもの状況によって、職員が不足していると感じることもある。 ・送迎の時間帯に手薄と感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	26	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	26	0	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	26	0	0	・子どもが落ち着いて過ごすことができるように、相談室やクールダウンの部屋を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	0	4	・毎日のミーティングで課題を確認している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	26	0	0	・年1回のアンケートを実施し、結果を掲示している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	26	0	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	7	2	・第3者委員会は設置していないが、ご意見箱を設置し、ご意見を受け付けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26	0	0	・定期的に行われている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	26	0	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	26	0	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	26	0	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	0	1	・事業所や外部で実施した知能検査等フォーマルなアセスメントを活用するとともに日々の行動観察を共有している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	0	1	発達段階や子どもの興味関心に合わせた支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	25	0	1	日々のミーティングで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	0	1	・SNS等を見て、新しいことを取り入れられるように心掛けている。 ・子どもが興味のあるような活動を話し合っていて決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	26	0	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	0	1	・その子どもに合った遊びを考え、どのタイミングで提案をするのかを話している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24	0	2	・終礼でその日の療育の中での反省点や気になったことを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	26	0	0	・日々、必ず記録ノートの記入をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	26	0	0	・定期的に職員同士で話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	24	0	2	・子どもの興味関心に合わせつつ4つの基本活動から複数組み合わせさせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	26	0	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	0	1	子どもに合わせて参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	0	3	・サービス調整会議等の機会を利用したり検査結果等の書面を通して間接的に連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	24	0	2	・不登校児童において月1回の連携を行っている。送迎については密に連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	23	0	3	・連携に努めるとともに難しい場合は相談支援等を通じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	24	0	2	・移行時の引き継ぎ会議に出席し、支援内容を伝えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	19	0	7	・必要に応じて連携を図り、助言や意見を聞いている。	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	19	1	6	・相談支援事業所を通じて伝達してもらうなど間接的に情報を得ている。	・機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	26	0	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	0	3	・年3回保護者勉強会を行い、保護者の学びの機会を提供している。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25	0	1	・契約時に行っている。	
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	1	・アセスメントシートやモニタリング、日々の相談で確認している。	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	25	0	1		
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	26	0	0		
	39	保護者勉強会&交流会等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいについての相談ができる、工作や集団療育などきょうだいも参加できるイベントを開催するなど、きょうだいへの支援がされているか。	24	0	2	・わくわく教室やラボ、スポーツなど集団療育で行っている。	
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26	0	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	0	2	・インスタグラムを使用して、子ども活動や集団活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	26	0	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	26	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	0	6	・野崎観音まつりでのお店体験やだんじりに参加している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25	0	1	安全計画を立て、一年を通じて計画的に実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	1	安全計画を立て、一年を通じて計画的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	0	2	・アセスメントシートで確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、保護者と連携し医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	5	3	・食事提供を行っていない。	・年度初めの保護者のアセスメントシートで確認しているが、クッキングのたびに確認している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	25	0	1	毎月の安全点検を実施し、安全管理に配慮している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	25	0	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25	0	1	・終礼で話し合い、管理者ミーティングにて事業所間でも共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	26	0	0	・研修を行い、レポートにまとめている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	21	0	5	・対象児はいないが身体拘束適正化委員会で組織化、マニュアル化している。	